

令和3年度 連携・協力事業の実施状況について

教職大学院専門部会

【プロジェクト名】 学び続ける学校トップリーダーの資質向上事業

1 プロジェクトの目的・概要

教職大学院専門部会は、佐賀県教育委員会と佐賀大学大学院学校教育学研究科（以下、「佐賀大学教職大学院」）の連携・協働により、「学び続ける教師」の育成を目指すとともに、佐賀県における教職員の生涯学習システムを構築していくことを目的とする。

そこで本事業では、佐賀県における「チーム学校」の実現に向けた推進役となる新たな学校管理職を「学校トップリーダー」と位置づけ、子どもを支えるネットワークの中の「学校」を意識し、多様で複雑な教育課題に対して組織的・効果的な対応を行うことができる「チーム経営」のマネジメント力を高めるため、佐賀大学教職大学院と佐賀県教育委員会が組織的に連携・協働して、学び続ける学校トップリーダーの資質能力の向上に取り組む。

令和3年度は、佐賀県教員育成指標で掲げられた10種類の資質のうち、「学校組織の理解と運営」、「指導育成力」、「危機管理・広報」、「判断・決断力」という4つを取り上げ、研修を行った。なお研修の形態については、新型コロナウイルスの影響が懸念されたため、今年度もオンライン配信型で行った。

2 令和3年度の実施状況**(1) 研修会の概要**

研修プログラムは、セッションⅠからⅣの全4回（1セッション3時間）の構成であった。具体的には、佐賀県教員育成指標で掲げられた10種類の資質のうち、「学校組織の理解と運営」、「指導育成力」、「危機管理・広報」、「判断・決断力」という4つを取り上げた。研修はオンライン配信型で行った。講義動画を各自で視聴し、講義の感想・質問を提出してもらい、後日講師からの回答をメールで配信した。

(2) 対象、人数、期間、会場、日程、講師

対象・人数：

研修対象者は、佐賀県の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の校長・副校長・教頭とし、定員は各セッション30名程度であった。また受講は4つのセッションの中から自由に選択できる形をとった。

期間：

令和3年9月14日～12月31日

日程・受講者数・講師：

セッションⅠ：9月14日～10月8日 ※講義動画の視聴可能期間

受講者数41名

平田 淳（佐賀大学大学院学校教育学研究科・教授）

セッションⅡ：10月5日～29日 ※講義動画の視聴可能期間

受講者数39名

鈴木建生（ユマニテク短期大学・学長）

セッションⅢ：11月9日～26日 ※講義動画の視聴可能期間

受講者数 45名

田代英毅（牟田法律事務所・弁護士長）

セッションⅣ：12月7日～31日 ※講義動画の視聴可能期間

受講者数 41名

梶山稔弘（ビズパワーサガ・代表）

（成果）

今年度も新型コロナウイルスの影響から、オンライン配信型の研修を行った。自分の都合の良い時間に研修を受けられるため、今年度も多くの方に受講していただいた（1セッションあたり平均受講者数：昨年度 40.6名、今年度 41.5名）。また昨年度は視聴の際に不具合などがいくつか見られたが、今年度はその反省を生かし、URL をクリックするだけでストリーミング視聴ができるなど、受講しやすい工夫を行った。その結果、特に大きな問題もなく4回のセッションを終えることができた。受講生の感想には、オンライン配信型での研修を肯定的に捉える意見が多く見られるが、やはり対面での研修を望む声もあるため、次年度は状況を見ながら、対面での研修を検討していきたい。

各セッションの終了後に受講者にアンケート調査を行った（表1参照）。アンケートは、研修内容に対する理解度や満足度、今後の実践への活用可能性などの8項目について尋ねた。いずれの項目も平均値が4段階中の3点以上を示しており、本研修プログラムを肯定的に評価していたことが示唆された。

表1 各セッションに対する受講者の評価（標準偏差）

		セッションⅠ 学校組織の理解と運営	セッションⅡ 指導育成力	セッションⅢ 危機管理・広報	セッションⅣ 判断・決断力
受講者数		41名	39名	45名	41名
1	本日の研修内容を理解することができた。	3.50 (0.59)	3.42 (0.56)	3.79 (0.38)	3.54 (0.68)
2	これまで知らなかった考え方や実践方法を学ぶことができた。	3.50 (0.66)	3.63 (0.4)	3.48 (0.60)	3.62 (0.57)
3	本日の内容は学校が直面する諸状況や課題を取り上げたものであった。	3.22 (0.76)	3.08 (0.79)	3.86 (0.35)	3.02 (0.79)
4	本日の内容は管理職の実践に役立つ内容であった。	3.64 (0.56)	3.50 (0.62)	3.93 (0.54)	3.38 (0.68)
5	本日の研修を通して、学校経営に主体的に参加する意欲が湧いた。	3.53 (0.54)	3.38 (0.67)	3.59 (0.54)	3.38 (0.50)
6	本日の研修は自身の力量の向上に有効であった。	3.56 (0.62)	3.42 (0.67)	3.66 (0.45)	3.46 (0.68)
7	本日の研修に満足している。	3.58 (0.57)	3.38 (0.72)	3.79 (0.38)	3.38 (0.68)
8	本日のような研修があればまた参加したいと思う。	3.64 (0.60)	3.50 (0.62)	3.86 (0.32)	3.54 (0.58)

注) 各質問に対して、1：当てはまらない、2：やや当てはまる、3：わりと当てはまる、4：とてもよく当てはまる、という4段階で回答を求めた。

今年度も、佐賀大学教職大学院教授、牟田法律事務所・弁護士長、ビズパワーサガ・代表など、佐賀県内の教育資源を活用し研修を行ったことが、研修に対する肯定的な評価につなが

ったのではないかと考えられる。

本事業を進めるに当たり「開発ワーキングチーム」会議を定期的を開催し、現場にとって必要性のある研修となるよう、また実施がスムーズに行くように綿密な打ち合わせができた。

(課題)

令和4年度以降も、佐賀大学教職大学院と佐賀県教育委員会において本事業を継続していくことで合意を得ている。ただし、新型コロナウイルスの収束状況が未だ不透明であるため、研修回数や研修形態については、その時の状況をしっかりと判断し、柔軟に対応していきたい。

3 今後の予定等

令和3年度については、すべての事業を終了した。次年度に向けて「開発ワーキングチーム」会議を継続的に開催していく予定。